＜総合振興計画進行管理表＞

施策評価表
（行政分野別計画）

１．基本事項

作成日 平成25年10月01日(火)

施策	歩行空間等の安全性の向上	期間	H.18 ～H.24	施策担当部課名	道路管理課

総合振興計画	行政分野別計画施策名	大項目	000004	便利で機能的な都市づくり＜都市・生活基盤＞
		中項目	000001	都市の一体性を生む道路の整備
		小項目	000003	歩行空間等の安全性の向上
	基本戦略		000003	市民活動の広がりを生み出すまちづくり
	主要プロジェクト		000004	ユニバーサルデザイン推進プロジェクト

施策の概要（目的や対象）	歩行者の安全確保のため、歩道のバリアフリー化を推進するとともに、歩道の整備を進める。交通弱者の方々が、安心して最寄の駅から公共施設まで行けるようにするための事業で、公共旅客施設（深谷駅）から主要な公共施設までの経路を特定経路とし、歩道整備や段差解消、誘導ブロックの整備を実施している。
市民ニーズの状況	
施策を取り巻く社会状況等	
施策の推進のための主な取り組み	バリアフリー化の推進 歩道の改良整備

２．評価指標

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標	バリアフリー化した路線数（累計）	路線	0.00	8.00	8.00	9.00	10.00	14.00
	改良着手・完了路線数		5.00	6.00	7.00	7.00	11.00	11.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

３．一次評価(平成２４年度の施策目的の達成状況)

区分	2	１：良好　２：概ね良好　３：やや不良　４：不良

＜評価コメント＞

「深谷市交通バリアフリー基本構想」に基づき、歩道等のバリアフリー化を推進し、段差解消や誘導ブロックなどを整備した。予定より完成が遅れたが、地元・ＪＲ・バス会社及び電気業者などと調整を滞りなく行え、予定した実施箇所について達成することができたが、目標値１４路線を着手できなかったことについては、事業推進の再検討が必要といえる。

評価者	道路管理課長　河田安雄

４．前期基本計画の総合検証（検証者は ３．の評価者と同じ）

総合検証	
□	良好
■	概ね良好
□	やや不良
□	不良
□	

総合検証の判定理由

特定経路・準特定経路の１４路線に対して１１路線実施し、実施延長割合９３．４％であった。目標１００％にかなり近く成果も上がったが、目標達成できなかった要因として、設計段階の調整や国庫補助事業費の継続的な確保などが計画どおりできなかったためである。

また、基本構想の準特定経路の整備方針は用地買収などが絡むことから、路線を再検討ししなければならない課題も残されている。

５．二次評価

＜所属長の見解＞

バリアフリー路線としては、特定・準特定経路とあるが、市道だけでなく国道・県道も含まれる。そのため、国県市の予算状況や優先すべき路線選定方法などにより事業推進が遅れるという可能性が多いにある。しかし、施策を展開するうえで、特定経路においてはほぼ計画どおりに実施できたことから適切に進行管理が行えた。

所属長	都市整備部長　榎本守男